

問題 2 - 1 「模擬店を成功させるためのゴール」

【解答】 B

【解説】 数学モデリングでは、最初に「何を目標とするのか」をハッキリさせることが非常に重要である。そうしないと、その後の計画が立てられなかったり、何をもって「成功」と評価するのかが分からなくなってしまうからである。

A（不正解） これはゴールを決めるための「情報収集」である。ゴールを決めるための参考にはなるが、ゴールそのものを決める行動ではない。

B（正解）「成功」というあいまいな言葉を、「売上」や「利益」といった数字で測れる具体的な目標に置き換えることが「ゴールの明確化」である。例えば、「売上」を目標にするなら 1 杯 100 円で 1000 杯売る戦略も考えられるが、「利益」を目標にするなら 1 杯 400 円で高くても質の良いものを売る戦略が良いかもしれない。このように、ゴールを明確にすることで、その後の作戦（値段設定、販売数目標など）が大きく変わってくる。

C（不正解） これはゴールを達成するための具体的な「手段」の一つである。ゴールが決まっていないのに手段から考えてしまうと、効果的でない行動につながる可能性がある。

D（不正解） 気持ちを一つにすることは大切ではあるが、これは目標があいまいである。「最高の思い出」ができたかどうかを客観的に測ることは難しい。数学モデリングでは、客観的に評価できるゴールを設定する。

E（不正解） これもゴールを達成するための「手段」の一つである。例えば「利益を最大にする」というゴールが決まった後で、「原価が安くて美味しいレシピ」を探す、というように、ゴールに合った手段を考えるのが効果的である。